



主に循環器系を対象とした病態生理学的研究により、ヒトや動物の健康を維持に資する基盤知識や技術を提供することを目指しています。循環器の機能は、心臓、血管、肺、腎臓、自律神経、脳あるいは免疫器官などが関連した複雑系により維持されています。病態モデル動物が見せる複雑な whole body での生命現象を一つ一つ解きほぐしていく作業が、疾患の発生や医薬品の毒性メカニズムの解明に繋がります。

また、実験動物の循環器機能（心拍、脈波など）や行動を解析するための新規技術開発に取り組んでいます。近年では、ヒト化小型実験動物など、臨床の再現性が高い様々な動物モデルが開発されており、生命科学研究の発展に資することが期待されています。一方で、小型で動きの制御が難しい実験動物から生体情報を得る基盤技術には限りがあります。新規技術により小型実験動物から多くの生体情報を取得可能にし、効率的なトランスレーショナル・リサーチを実現させるために取り組んでいます。